

日本心理学会第86回大会公募シンポジウム

掘り起こされていない研究分野を開拓する方法

- 実証的宗教心理学の挑戦 -

話題提供 2

研究プロジェクトを起こすことの意義

西脇 良 (南山大学)

宗教心理学研究会Webページ

<http://psychology-of-religion-japan.org/>

宗教心理学研究会

Society for the Study of Psychology of Religion

トップ 研究会概要 研究活動 会員について

ツイート いいね! 10

宗教心理学研究会は、日本における宗教心理学的研究の活性化をめざして、2003年夏に設置されました。心理学・社会心理学・社会学・宗教学など、様々な分野の研究者による交流の場となれば幸いです。
具体的には、研究発表会の開催・メーリングリストの運営・ニュースレターの発行などを行っています。

お知らせ・更新情報

22.05.05 **NEW!!** 奥野会員のプロフィール情報を掲載しました。(会員紹介)

21.07.04 **NEW!!** リンク集に西脇会員、兒玉会員のウェブサイトを追加しました。(リンク集)

21.06.12 **NEW!!** 亀井会員のプロフィール情報を掲載しました。(会員紹介)

21.05.04 市川会員、高橋会員のプロフィール情報を掲載しました。(会員紹介1、2)

研究会概要

研究目的

活動内容

更新履歴

研究活動

研究発表会

ニュースレター

宗教心理学関連文献目録
プロジェクト

2005年度科学研究費補助金
研究プロジェクト

2012年度科学研究費補助金
研究プロジェクト

会員について

入会案内

本会の研究活動

- ▶ 研究発表会（日本心理学会）

今年で18回目。過去には「マインドフルネス」「生命倫理」「スピリチュアリティ」など

- ▶ 研究例会（研究会独自）

最新第22回目。テーマは「グリーフケア」「身体」「写経」など

- ▶ ニュースレター発行

最新第33号。研究会報告や研究分野に関する意見発表など

- ▶ 文献目録公開

現在1100本以上の文献情報を収録。D L可

「研究プロジェクト（1）」



▶ 研究名

「宗教心理学の体系化に関する研究—宗教心理学の社会的貢献にむけて—」

▶ 期間

2005年度（基盤研究(C)企画調査）

▶ 研究チーム

研究代表者（西脇） 研究分担者9名 研究協力者5名

▶ 研究経費

330万円

「研究プロジェクト（1）」



▶ 研究成果

○ 宗教心理学の学問的体系化

現代社会の諸問題を念頭に先行研究を分類整理（文献研究班）

○ 研究者間の交流および情報交換

M L 立ち上げ・研究発表会での議論・ニュースレターの発行

○ 研究を通しての学問上の貢献

貢献可能性を予備調査を通して確認

○ 学会設立に向けた準備

研究会の運営体制を構築

「研究プロジェクト（1）」



▶ 「文献研究班」の取り組み（宗教心理学の学問的体系化）

- ・2000年以後の宗教心理学の概説書で扱われているテーマの概観
- ・心理療法と宗教性／スピリチュアリティの関係をめぐる諸研究の動向
- ・認知宗教学※(Cognitive Science of Religion) ※「宗教認知科学」
— 宗教研究と宗教心理学における新たな研究ジャンル —
- ・宗教と攻撃性に関する研究のレビュー
- ・「宗教と精神的健康」に関する文献—2000年以降の動向把握のために—
- ・宗教心理学は宗教教育に何をもたらしうるか

「研究プロジェクト（１）」



▶ 「文献研究班」の取り組み（宗教心理学の学問的体系化）

- ・宗教的生涯発達に関する最近の国内研究の概観
- ・死に関わるテーマ
- ・現代におけるサーダカウマリィ※ （※霊性の高い生まれ）
- ・動物における同種個体の死体に対する反応行動についての文献的検討

—動物は仲間の死をどうとらえているのか？—

「研究プロジェクト（２）」



▶ 研究名

「宗教性／スピリチュアリティと精神的健康の関連—苦難への対処に関する

実証的研究—」

▶ 期間

2012～2014年度（基盤研究(B)）

▶ 研究チーム

研究代表者（松島） 研究分担者 5 名 連携研究者 3 名 研究協力者 9 名

▶ 研究経費

1,820万円

「研究プロジェクト（２）」



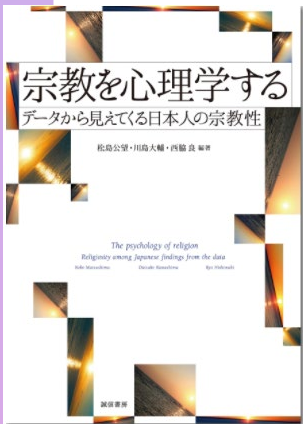
▶ 研究成果

▶ 質的研究班

- 東北地区チーム …東日本大震災による喪失と宗教／死者への卒業証書
- 関西地区チーム …阪神淡路大震災による喪失と宗教／ろうそく法要

▶ 数量的研究班

- 「浄土真宗」チーム …僧侶に対する質問紙調査（276名）
- 「5つの宗教教団＋一般日本人」チーム
…出雲大社教・立正佼成会・曹洞宗・カトリック・プロテスタント
および一般日本人に対する質問紙調査（6620名）



「研究プロジェクト（3）」

▶ 研究名

「ユダヤ—キリスト教的文脈の脱構築を試みる宗教性／スピリチュアリティにおける
実証的研究—日本人の宗教性の実態解明および日本とトルコとの比較調査、
比較実験(国際共同研究)—」

▶ 期間

2021年度より（進行中）

▶ 研究チーム

研究代表者（松島）以下 22名

「研究プロジェクト（3）」

▶ 目的

- ユダヤーキリスト教的文脈からの脱構築
- 日本人の宗教性／スピリチュアリティの実態解明
- 国際比較調査（日本とトルコ）

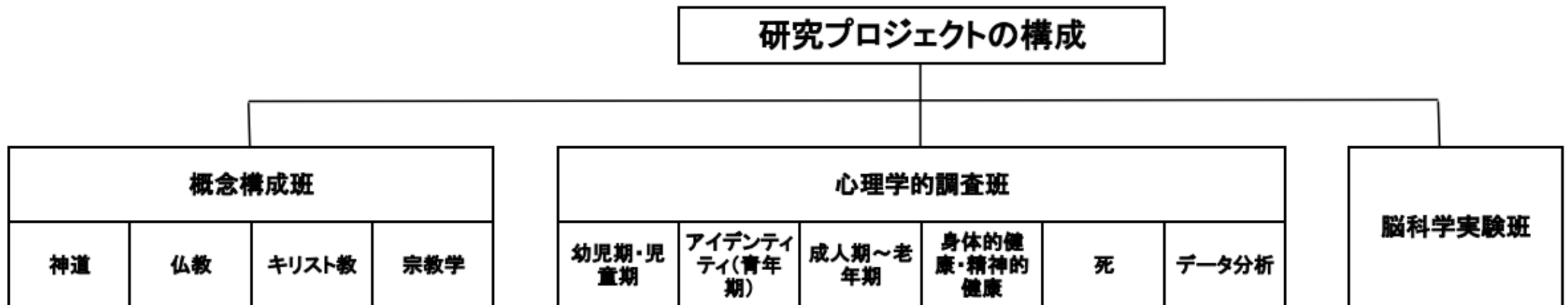
▶ 現在、「脱構築」を念頭に、日本人の宗教性／スピリチュアリティを把握するための測定尺度を開発中

「研究プロジェクト（3）」

▶ 研究チーム

「概念構成班」「心理学的調査班」「脳科学実験班」の3部体制

ユダヤーキリスト教的文脈の脱構築を試みる宗教性／スピリチュアリティにおける実証的研究
～日本人の宗教性の実態解明および日本とトルコとの比較調査, 比較実験(国際共同研究)～




研究プロジェクトを立ち上げることの意義

 **Hop,**
第1回プロジェクト

アイデンティティ

 **Step,**
第2回プロジェクト

大規模調査研究

 **Jump!**
第3回プロジェクト

世界発信へ！

3つの研究プロジェクト

研究プロジェクトを立ち上げることの意義

- ▶ 多様な視点や知識をもつ専門家が結集される
ex. 実践者と研究者, 心理学と医学, 経験知の豊富さ
- ▶ 比較的ゆるやかな研究者ネットワークが構築される
関心のある作業工程には積極的に関わり, その他は待機して討論に参加
- ▶ 視点・問題意識・論点の「ズレ」が, あらたな可能性を生む
必ずしも当初の研究計画 (や見込み) 通りに整理・収束できずともよい

研究プロジェクトを進めるうえでの留意点

▶ 議論と結論

議論はしたが結局どうすることになったのか、が共有されないと、モヤモヤしてしまう

▶ 少数の実働者と、多数の傍観者／批評者

研究プロジェクトの先細りにつながる

▶ 対人コミュニケーション能力

研究者として高め合うことは互いの尊厳をも高め合うことである



Hop, Step, Jump!

ありがとうございました

西脇 良 (南山大学)

rnishiwk@nanzan-u.ac.jp

<https://rnishiwk.com/>